

# 大学の世界展開力強化事業(2023年度選定) 琉球大学 取組概要

**【事業の名称】**(選定年度2023年度)  
 インターアイランド・サステナビリティ教育プログラム

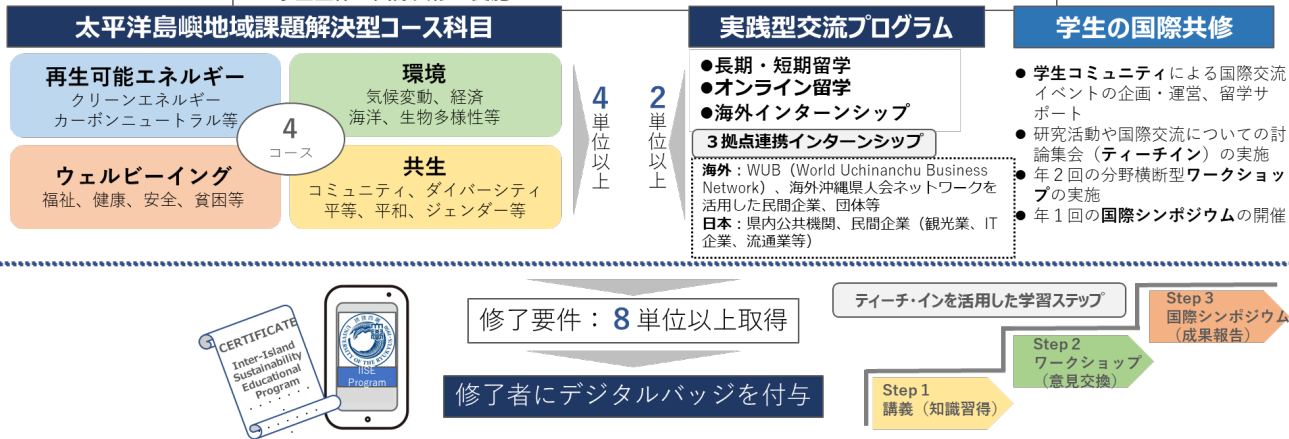
**【交流推進事業の概要】**  
 日本(沖縄)、米国、台湾による三拠点連携

- 日本** 琉球大学(7学部:人文社会学部、国際地域創造学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部)
- 米国** ハワイ大学ヒロ校(ハワイ島)、カウアイコミュニティカレッジ(カウアイ島)、カピオラニコミュニティカレッジ(オアフ島)
- 台湾** 中国文化大学(台北市)、国立東華大学(花蓮市)

## プログラムの内容

- ✓ 日本、米国、台湾の3拠点で自然科学、人文社会学の分野横断型のカリキュラムを提供
- ✓ 「太平洋島嶼地域課題解決型コース科目」と「実践型交流プログラム」の設置
- ✓ 学生主体の国際共修の実施

- 対面講義
- 実践型交流
- COIL型教育
- JV-Campus



## 【交流プログラムの概要】

琉球大学は、戦後間もない1950年に設立され、継続的に太平洋島嶼地域に関する研究・課題解決に取り組んできた。さらに、太平洋島嶼地域との半世紀にわたる人的交流を通して、それぞれの地域社会に共通する課題に対する相互認識を深めてきた。今後は、太平洋島嶼地域が共有する課題(エネルギー、環境、国際関係、観光、貧困、福祉、移民、先住民・原住民の文化、言語継承)に対する認識をさらに高め、専門知識や技術をもってこれらの課題を解決できる人材育成が求められている。そこで本学は、本事業で沖縄・ハワイ・台湾を中心とした太平洋島嶼地域間の国際的協働による持続可能な社会の実現に資する人材育成を目指す「インターアイランド・サステナビリティ教育プログラム」を実施する。

## 【本事業で養成する人材像】

- ・専門的な知識、技術、外国語運用能力を備え、幅広い視野と柔軟性で、太平洋島嶼地域の課題解決へ向けて主体的に行動できる人材
- ・本事業を契機に身につけた国際感覚をもとに、常に学び続け、各分野をリードする沖縄・ハワイ・台湾の架け橋となる人材

## 【本事業の特徴】

- ・インターアイランド・サステナビリティに特化した4つのコースの設置
- ・3拠点連携インターンシップの実施
- ・学生主体の活動の推進
- ・マイクロクレデンシャルの導入

## 【交流予定人数】

		2023	2024	2025	2026	2027
派遣	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	100	400	500	600	600
	実渡航とオンライン受講を行う学生	5	8	10	12	12
受入	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	30	100	100	150	200
	実渡航とオンライン受講を行う学生	5	8	10	12	12